

## 体験談

### 体験談 ①

パートナーから感染して、半年が経ちます。  
嗅覚はだいぶ戻ってきましたが、  
味覚はまだ戻りません。  
不安な日々を過ごしていますが、  
できることをやってみようと思えます。



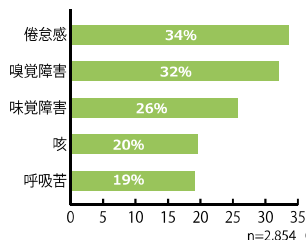
### 体験談 ②

発熱やどの痛みがりましたが、  
その後、全身倦怠感がなかなか回復しません。  
仕事に行くのもできない  
状況ですし、医療機関に  
十分な情報がなく治療にも  
時間がかかっています。



## 後遺症に関するデータ紹介

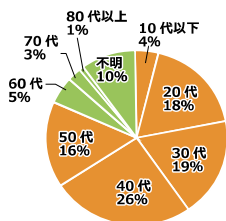
### 相談者の症状



〈年代別の主な症状〉  
●全年代において倦怠感が見られる。  
●60代以下の年代で嗅覚障害が、50代以下では味覚障害が見られる。

(※) 出典：大阪府「大阪府新型コロナウイルス受診相談センターにおける後遺症相談の概要」(令和3年7月8日～11月30日、政令・中核市を除く)

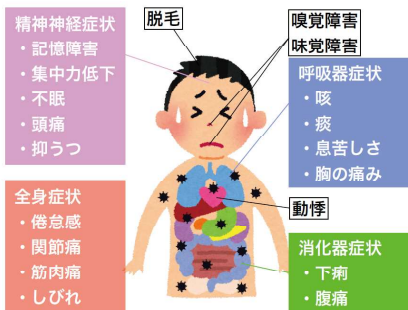
### 相談者の年代



相談者のうち、約80%が50代以下の方となっており、比較的若い世代からの相談が多い。

n=2,854 (※)

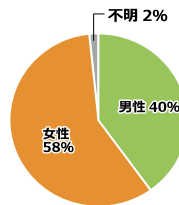
### <参考>後遺症の主な症状



療養中に見られた症状だけでなく、集中力低下、脱毛、抑うつなど、経過の途中から新たに出現する症状もある。

出典：「COVID-19 後遺症について」(令和3年11月12日講演資料)  
講師：大阪大学大学院医学系研究科・医学部感染制御学教授 忽那賢志氏

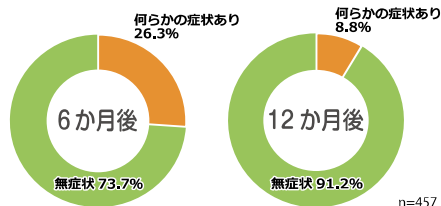
### 相談者の男女比



相談者のうち、男性が4割、女性が約6割となっている。

n=2,854 (※)

### 後遺症の頻度



n=457

日本国内の研究では、新型コロナウイルス感染症の回復者のうち、後遺症と考えられる何らかの症状が認められた人は、発症または診断から6か月後では約4人に1人、1年後では約1割となっている。

出典：厚生労働省「新型コロナウイルス感染症診療の手引き」第7.0版

## 症状について (一部紹介)

新型コロナウイルス感染症の罹患後も、様々な症状が後遺症として現れています。  
また、同時に複数の症状が現れる場合もあります。

### 強い倦怠感

身体や精神的に「だるい」「疲れた」「疲れやすい」という軽い症状から、「体が鉛のように重く感じられる」といった強い症状まで様々な症例があります。



### 味覚・嗅覚障害

「味がわからない」、「においがわからない」「本来のにおいとは別のにおいを感じる」など、罹患後も引き続き味覚・嗅覚障害を発症している事例が報告されています。



### せき・たん

激しい咳が持続するなどの事例が報告されています。



### 呼吸困難

呼吸困難感など呼吸器症状が持続し、中には息苦しさで日常生活に支障をきたす事例も報告されています。



### 思考力・集中力の低下

Brain fog (脳の霧) と呼ばれる「頭がボーっとする」ような症状や、集中力の低下などが報告されています。

### 抜け毛

療養中から症状が現れ、その後も症状が改善しないと、いった事例が報告されています。

